

事業所自己評価シート

職員による自己評価

A：環境面

日々、清掃を実施しており、清潔な環境の維持を心がけている。

スペースは充分確保できている。

B：児童への支援内容

様々な体験ができるプログラムを提供している。スキルの定着を目指して毎月繰り返している活動もある。

C：関係機関との連携

定期的に相談員と関係者会議等を実施。

必要に応じて連携をしている。

D：保護者への説明責任・信頼関係

適切に果たしている。

日々、信頼構築に努めている。

同年代の子どもを持つ保護者同士が集まり、情報交換できる機会を設けた。

E：非常対応

定期的に避難訓練を実施。

緊急時対応のスキルアップに努めている。

保護者による評価

A：環境面

十分なスペースが確保され、広い室内で子供も満足している。

B：児童への支援内容

支援内容に満足との回答がメイン。

子どもの成長や、良い変化を感じることができている。保護者に対しても細やかに対応してくれている。

多様なプログラムに満足している。

C：事業所からの情報発信

ホームページをあまり見た事がないという方が数名いた。

D：非常対応

適切に実施されている。

事業所内での分析

【共通点】

- ① 施設の環境面への取り組みに対して、満足度が高い。
- ② 児童への支援内容への取り組み（事業所）に対して、客観的な評価（保護者）が高い。

【相違点】

保護者への説明等について、事業所での取り組みが十分に伝わっていない方もいることが分かった。

分析・検討してみたて…

事業所の強み

- ・利用児が毎回の活動を楽しみに通所している。
- ・職員の離職率が低い為、利用児にとって安定した人的環境を提供する事が出来ている。
- ・送迎がない為、十分に活動の時間を確保する事ができる。

事業所の改善点

- ・事業所での様々な取り組みについて、より分かりやすく保護者へ周知していく。

事業所の改善への取り組み

- ・保護者との日々のコミュニケーションの中で、また掲示物等も活用しながら情報発信に努めていく。
- ・ホームページを活用し、引き続きブログ等で事業所での活動の様子を発信していく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

事業所のサービスについて、多くの保護者から満足しているとの回答を頂いた。

新型コロナウイルスの影響が落ち着き、多様なカリキュラムを提供できるようになったことや、保護者との日々の会話の中で困り感や要望を聞き、今必要な支援の方向性を共に模索できたことが、このような結果に繋がったと言える。

今後も、利用児・保護者の最善の利益を追求したサービス提供を目指し、保護者からの意見を役立てていきたい。

事業所名：発達応援団ピュアキッズいずみ2号